

学校評価アンケートの集計結果について

昨年12月に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果が下記のとおりまとまりました。より一層、信頼される学校づくりに努めてまいります。皆様のご理解とご協力をよろしく願いたします。

※本年度、保護者の皆様からの学校評価アンケートの回収率は74.5%(583名)でした。今後とも皆様の意見をより反映させていくように努めてまいります。

※昨年度のアンケート内容と同様の項目については、比較してあります。

◎各項目の数値は%です。表の中の数字は、AとBの合計の数値です。

○Aよくあてはまる Bあてはまる Cあまりあてはまらない Dほとんどあてはまらない Eわからない(保護者・地域・教職員)のうちA及びBの評価の割合
○Aよくあてはまる Bあてはまる Cあまりあてはまらない Dわからない(児童)のうちA及びBの評価の割合

四者による学校評価アンケート結果	保護者			低学年			高学年			学校評議員・地域			教職員			学校の自己評価 ◆学校評価委員会の意見 ★学校の来年度の取組			
	27年度	26年度	差	27年度	26年度	差	27年度	26年度	差	27年度	26年度	差	27年度	26年度	差				
【学校の教育目標】 ○学校の教育目標や目指す学校像は、子供や地域の実態に合った適切な内容となっている(保護者・地域・教職員)	88									100						100			◇肯定的な評価が地域、教職員が100%、保護者では9割弱となっており、学校の指導の重点は子供や地域の実態にあつたものとなっている。 ☆今後とも全教職員の理解のもと、全教育活動を通じて知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子供の育成に努めます。
【学校生活の様子について】 ○子供たちの学校での様子は楽しそうである(保護者、地域、教職員) ○学校は楽しいですか(児童)	96	97	-1	94	93	1	93	87	6	100						100	100		◇全体的に肯定的な割合が高い。昨年と比べ低・高学年児童共に上がっている。全体としては楽しく過ごしているように思われる。 ◆肯定的な割合が高いことは、よい評価と受けとめてよい。 ☆児童面談をはじめ、全教職員が一体となり組織として、児童の様子には十分気を付けてみていくように努めます。
【学校生活の様子について】 ○子供たちは仲良く、学校生活を送っている(保護者、地域、教職員) ○あなたは、友達と仲よくしていますか(児童)	96			96			98			88						100			◇保護者、児童、地域、教職員の評価は肯定的な割合が高い。今後とも自他のよさを認め互いに尊重する態度を育てていく。 ☆学級や学校生活を充実させ、教師と児童の信頼関係及び児童相互の好ましい人間関係を確立し、一人一人の人格を尊重するとともに学級経営・学習指導の充実を図ります。
【教職員の対応について】 ○教職員は誠実に子供や保護者(地域の方)に接している(保護者、地域、教職員) ○先生はあなたのことを考えたり、話を聞いたりして接してくれますか(児童)	93	91	2	96	94	2	93	87	6	88						100	100		◇保護者、低・高学年児童の肯定的な評価の割合が昨年より少し高くなっている。より一層子供の思いや願いを受けとめるように努める。 ☆教職員間の連携を密にしながら、迅速かつ適切に子供の思いを受けとめるように努めます。
【学校生活の様子について】 ○子供たちは、進んであいさつをしたり、正しい言葉づかいをしたりしている(保護者、地域、教職員) ○あなたは、進んであいさつをしたり、正しい言葉づかいをしていますか(児童)	56	88	-32	92	91	1	89	87	2	50						36	96	-60	◇保護者、教職員共に肯定的な評価の割合が低い。昨年と比べても保護者、教職員が下がっている。今後とも重点的に指導をしていく必要がある。 ◆学校内で会う人同士では、進んであいさつをするようになってほしい。 ☆あいさつ運動を計画的に行うとともに、家庭と地域とも連携しながら取り組んでいきます。
【学校と保護者・地域の連携について】 ○保護者は全体的に学校に協力的である(保護者・地域・教職員)	82									63							97		◇保護者や地域の方から学校の教育活動に理解を示し、借しめない支援をいただいている。PTAの活動等を発信し更に周知していく必要がある。 ☆今後とも家庭・地域との連携、協力を重視し、地域に開かれた取組を推進します。学校だよりやホームページ等を通して情報を発信しながら、学校、家庭の教育力を最大限に発揮できるように教育活動を進めます。
【学校の教育環境について】 ○学校の教室や廊下、特別教室、校庭などの環境整備は行き届いている(保護者、地域、教職員)	82									63							76		◇保護者、地域、教職員共に肯定的な評価の割合が低く、今後、安全・安心できる教育環境に努めていく。 ◆児童数増加も視野に入れ、将来的に教育活動を円滑に行うことができるように計画していく必要がある。 ☆今後とも校舎、校庭、校内施設・設備の安全点検を実施するとともに、子供たちの清掃活動の充実を図り、安全で安心して気持ちよく学習できる環境の整備に努めます。
【学習について】 ○学校は、子供の学力の定着・向上のために工夫した授業を行っている(保護者、地域、教職員) ○学校の勉強は、よく分かりますか(児童)	88	95	-7	93	94	-1	94	86	8	100						91	100	-9	◇保護者、低学年、教職員共に肯定的な評価の割合が昨年より下がり、引き続き授業改善に努めていく。高学年では昨年より上がっており、さらに分かる授業に努めていく。 ☆児童一人一人を見取り、よく分かる授業となるように指導方法を工夫改善し、指導の充実を図ります。
【生活指導】 ○授業は、話の聞き方や発表の仕方等のルールが守られており、落ち着いた雰囲気の中で学習が進められている(保護者、地域、教職員) ○あなたは、学校のまきまりを守って、落ち着いて勉強や生活をしていますか(児童)	76	94	-18	93	91	2	90	86	4	63						73	96	-23	◇肯定的な評価の割合が保護者、教職員で昨年より下がり、自主性、自律性、規範意識を高める手立てが必要である。 ☆一人一人の人格を尊重しながら規範意識を育て、また、授業では道徳を中心に、社会的資質や行動力を高めるため、学級経営の充実を図るとともに、仲町スタンダードのルールを学校として徹底します。
【少人数指導】 ○1年生の算数TT指導や2年生以上の算数少人数指導は学習の定着に効果をあげている(保護者、地域、教職員) ○算数の少人数の授業は、よくわかりますか。(児童)	79			97			93			75							84		◇分からないという割合が保護者で13%、教職員で9%である。少人数授業の指導方法と、学力調査の結果の周知を図る必要がある。 ◆学力の差が出やすい教科なので、少人数による指導を是非継続してほしい。 ☆教師間の連携を密にし、学習内容の習熟の程度に応じた指導方法や指導体制を工夫改善し、指導の充実を図ります。

学校全体について

学習指導について